

行革推進委員のアンケート

No. 1

提 案 内 容	方 針 案
<p>(1) 人事管理の適正化</p> <p>① データ管理 庁内のファイル等を一元化・共有・有効活用</p> <p>② IT 化の推進 能力の向上を図るための研修強化で、ヒューマンエラーを出さない取組とチェック方法の確立</p>	<p>・整理運動の中で検証し、可能な部分を行う。</p> <p>・職員による改善、職員研修により、可能な部分を強化する。</p>
<p>(2) 防災・危機管理の推進</p> <p>台風 19 号を契機に、各地区グループごとに警戒避難体制と情報伝達関係を構築</p>	<p>(消防防災課に連絡済。消防の通常業務の中で加味することとし、行革では行わない。)</p>
<p>(3) 交流人口の拡大と観光振興</p> <p>ジオパーク認定地区で、認定をやめるところが出てきた。 糸魚川市はジオパークを今後どのように推進していくのか。</p>	<p>(商工観光課に連絡済。行革では行わない。)</p>

提 案 内 容	方 針 案
<p>(1) 総人件費等の更なる削減</p> <p>総人件費等は、正職員は計画的に削減されていますが、その他の職員は増員されているので、業務分析等の手法を取り、正職員の更なる削減を期待します。</p> <p>また、ガイドラインを設けて管理ください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・定員適正化計画の中で検討する。
<p>(2) 統制可能経費の縮減</p> <p>電気、ガス、水道、下水道、事務経費（運搬費、通信費、コピー用紙等）を含めて、リース代、交際費、食事代、出張旅費、交通費等、全ての経費を分割して、再度、経費の削減のテーマアップを要望します。</p>	<ul style="list-style-type: none">・すでに実施している部分があり、令和2年度の委員会で説明する。（先進の取組をアピールする。）
<p>(3) 事業計画の総見直し</p> <p>事業の判断基準と仕分けの明確化を図り、産業の育成や雇用の維持拡大を優先する方針と配分では、子育て支援を充実させ、高齢者の支援を段階的に縮小させる見直しにより、持続可能な糸魚川市にしたいです。</p>	

提 案 内 容	方 針 案
<p>(1) 水道料金について</p> <p>青海地区では、水道料金の値上げのコンセンサスが始まった。30年を経過してきているとのこと、大変な金額が市の財政にのしかかってくると考えられる。</p> <p>いづれ他の地域も同じ問題が発生してくるものと思う。これは避けて通れない。</p> <p>しかし三地区の料金には大きな差がありすぎる。別々に工事をしていたら、そこで値上げ等が発生する。こんな事では合併の効果がいつまで経っても出てこない。</p> <p>人口減、節水で水の使用量が減る一方、老朽化した水道管や浄水場の更新費も嵩んでくる。これは全国的な問題でもあり、糸魚川市だけの問題ではない。</p> <p>三地区を統合して10年を経過しているが、この問題は解決していない。</p> <p>特に能生地区との差は非常に大きいと思う。解決は大変である。</p> <p>料金の差ではこんな例もある。高松市と琴平町では1,400円以上の差があった。</p> <p>納め方もバラバラだったため、「コンビニ支払い方式」にした。今後は10年かけて料金の統一を図るといふ。国のアドバイザーは危機にある水道を守るには、覚悟を持った「公」が動くダウンサイジングしか手段は無い、と話している。</p> <p>市もいつまでも個々に進めるのではなく次の10年に向けて、統一という選択をするくらいの考えを持ち、進めていくことが必要ではないでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取組項目があるので、ガス水道局に連絡した。